

にちようび 日曜日	げつようび 月曜日	かようび 火曜日	すいようび 水曜日	もくようび 木曜日	きんようび 金曜日	どようび 土曜日
		1 卓球	2 囲碁	3 貯筋体操 パソコン	4 卓球 囲碁 各種相談日	5
6	7 囲碁 スローエアロ 地域巡回事業	8 卓球	9 囲碁	10 ふれあい喫茶 パソコン	11 卓球 囲碁	12
13	14 囲碁 スローエアロ	15 卓球	16 囲碁	17 貯筋体操 パソコン	18 卓球 囲碁	19
20	21 敬老の日	22 国民の休日	23 秋分の日	24 貯筋体操 パソコン 月イチ★ダンス	25 卓球 囲碁	26
27	28 囲碁 スローエアロ	29 卓球	30 囲碁			

詩

坂村

真民

『尊いのは足の裏である』

尊いのは 頭でなく

手でなく 足の裏である

一生人に知られず

一生きたない処と接し

黙々として その努めを果たしていく

足の裏が教えるもの しんみんよ

足の裏的な仕事をし 足の裏的な人間になれ

頭から光が出る まだまだだめ

額から光が出る まだまだいかん

足の裏から光がでる

そのような方にこそ 本当に偉いひとである

あさひぶんかいかんれんらくさき

朝日文化会館連絡先

じゅうしょ しこくちゅうおうしみしまあさひ ちょうめ ばん ごう

住所：四国中央市三島朝日3丁目5番30号

TEL：0896-28-6070

FAX：0896-28-6104

会館だより

だい ごう ねん がつごう

第522号2026年9月号



秋桜（コスモス）

花言葉：調和

明日へ続く花

さしえ 挿絵

gauyasu

【おしらせ】

- ふれあい喫茶（今月は10日 木曜日） 予約締め切りは9月8日まで。
- 各種相談日 9月4日（金）10：00～
人権相談、生活相談、困っていること、何でも 話 に来てください。
- 周辺地域巡回事業 9月7日（月）15：30～

さかむらしんみんきねんかん へいかん よ 坂村真民記念館の閉館に寄せて

と べ ちょうえい さかむらしんみんきねんかん こうきょうしせつ さいへん
砥部町 営の「坂村真民記念館」は、公 共 施設の再編に
ともな がつまつ てん じぎょうむ お がつまつ へいかん
伴い、6月末で展示業務を終え、9月末に閉館いたします。
ねん はな さくひん し しじん さかむらしんみん
「念ずれば花ひらく」などの作品で知られる詩人・坂村真民



(1909～2006)の生 涯と作品を紹 介してきた記念館です。昨年、他界した母が
ぜっさん しょうがい さくひん しょうかい きねんかん さくねん た かい はは
絶賛していたこともあり、展示最終日の6月30日、私 も記念館を訪 れました。
しろ がいへき わふう ひらやだ お つ かんない きかくてん
白い外壁に和風の平屋建て。こちんまりとして落ち着いた館内では、企画展
しんみん かいさい こころ ひび し いっせつ じんせい あゆ
「真民さんのまなざし」が開催されていました。心 に響く詩の一節や人生の歩みに
ひつよう ことば かすかす む あ し ひと せなか
必要な言葉の数々など、ゆっくり向き合っていると、詩のもつやさしさと人の背中
をそっと押してくれる 力を感じ、こころ すこ ゆた おだ き も つつ
をそっと押してくれる 力を感じ、心 が少し豊かになり、穏やかな気持ちに包まれ
ました。

くまもとけん う しんみん ちょうせんはんとう きょうし つと しゅうせんご えひめけん いじゅう
熊本県で生まれた真民さんは、朝 鮮半島で教師を勤め、終戦後に愛媛県に移住
して、南予地域の高校で教 鞭をとりながら詩に傾倒するようになりました。58歳
とき とべちょう うつ す たいしよく さい な やく ねんかん しさく
の時に砥部町へ移り住み、退 職してから97歳で亡くなるまで約40年間は詩作に
せんねん いの しじん ひとびと こころ おお あしあと のこ
専念し「祈りの詩人」として人々の 心 に大きな足跡を残しました。

かんない かいほうし はるごう えひめけん じんけん どうわ
館内でいただいた会報誌 タンポポだより 2018春号には愛媛県の人権・同和
きょういく なが たすさ えひめけんじんけんきょういくきょうぎ かい かいちょうだいこう よねだたかひろ
教 育に長く携 わってこられ、愛媛県人権教 育 協 議 会 会 長代行の米田孝弘さん
が、「真民先生は生きる杖、みちしるべ でした」と題して寄稿されています。

よねだ とく かんめい う しょうかい しんみん
そこで、米田さんが特に感銘を受けたとして紹 介されていたのが、真民さん59
さい とき よ し とうと あし うら りめん きょうじよてい げだん さんしょう
歳の時に詠んだ詩「尊 いのは足の裏である」。※ 裏面 行事予定の下段 参 照
し なか ひと し よご ばしよ せつ もくもく やくめ は
この詩の中で、人に知られることもなく、汚れる場所に接し、黙々と役目を果た
す「足の裏」に目を向けています。わたし ふだん ぞんざい いしき
「足の裏」に目を向けています。私 たちは、普段その存在を意識することは、ほ
とんどありません。しかし、足の裏がなければ立つことも、前へ歩くこともできま
せん。それは、わたし しゃかい つう おも ひと め
せん。それは、私 たちの社会にも通じるように思います。人の目につかない

ところで、誰かを支え、黙々と役割を果たす人たちがいます。その一人ひとりの 働
きが重なって、私 たちの暮らしは成り立っています。あし うら ことば はな にんげん
の価値は、何かを 考 えさせられる大切な意味が込められているように感じました。

にほんぜんこく せかい ひろ し ひ しな い たんさく 日本全国に、世界に、広がる詩碑 市内を探索して

しんみん し ひ とどうふけん せかい こくほど さまざま かたち き
真民さんの詩碑は、47都道府県・世界25 か国程に、様々な 形 をして、800基
いじょう た ねん おし こ しげのぶゆきひろ
以上が建てられています。1994年に教え子である重信幸廣さんによりアフリカ
さいこうほう さんちよう ねん はな
最高峰タンザニアのキリマンジャロ(5,895m)の山 頂に「念ずれば花ひらく」を
にほんご えいご ご ひょうき じそうさま た
日本語・英語・スワヒリ語で表記したお地蔵様(30 cm・20 kg)が建てられました。
えひめけんない き ほど た しな い き たんさく
愛媛県内に 150基程が建てられており、市内にある2基を探索してきました。

1 つは「念ずれば花ひらく」の詩碑が、川之江町 八幡神社本殿 へ
よこ しんみん はは せいかつ なか じぶん はげ
の横にありました。真民さんの母が生活の中で、自分を励ますために、
いつも言っていた言葉で、生きることに悩み、苦しんでいる人たちへ
はげ し まえむ い ねが し
の励ましの詩であり、前向きに生きるための「願いの詩」となって、
ぜんこくつつうらうら た
全国津々浦々に建てられています。



め じぶん はな さ し ひ しんぐうちよう みち えき
2 つ目は「自分の花を咲かせよう」の詩碑が、新宮町 道の駅
きり もり やく しんせがわばしそ じぶん も
霧の森から約500mの新瀬川橋治いにありました。自分の持てるもの
ぞんぶん い い おも こ
を存分に活かして生きていこうという思いが込められています。 へ



じぶん はな さ すべ ひと ねが わたし たいせつ おも
自分の花を咲かせたい。という全ての人の願いを 私 も大切にしたいと思います。
しんみん し みじか うつく あたた
真民さんの詩は、短 くてわかりやすく、美 しくて温 かいぬくもりがあります。
ことば よ そ ことば つよ ちから かん あいじよう
言葉が寄り添っていて、言葉のもつ強さ、 力を感じ、愛 情にあふれています。
し ひ み まえ し ねが くち しんみん おも は
詩碑を見つけたら、その前で、詩や願いを口にしたりして、真民さんに思いを馳
せてみてはいかがでしょうか。 あさひぶんか かいかん しゅじ にしおか たからみ
朝日文化会館主事 西岡 孝文

さんこうしりょう さかむらしんみん はるごう
【参考資料】坂村真民タンポポだより 2018春号vol.24

さんこうぶんけん さかむらしんみんきねんかんこうしき かいいていばん
【参考文献】坂村真民記念館公式ガイドブック 改訂版